



太成学院大学 www.tgu.ac.jp

〒587-8555 大阪府堺市美原町平尾 電話 072-362-3731/FAX 072-362-0598 監修:学校法人 天満学園 学園企画室

就職活動に 大きな強み!



資料を見ながら真剣な表情の学生たち



初めて開催された「学内企業説明会」

本学主催で画期的な初の試みとして、「学内企業説明会」が、キャリアサポートセンター、部長石原土教授により、16社の協力参加を得て、11月11日(金)、本館3階多目的教室で開催された。今回対象となったのは、人間学部の3年次生でアセンブリ・アワーの一環として行われた。就活支援活動としては学生の強い味方であり、成果が目まぐるしく上がっている。

参加した学生は、リクルートスーツを着用し、やや緊張した雰囲気であったが、緊縮した雰囲気であったが、1時間という時間的制約のなかで自分の関心のある企業ブースを中心に、「一つでも多くの企業の話を知りたい」という声が多く聞かれた。人気のある企業ブースには、順番待ちの学生がたまたま、自分の番をいまやあそ

学内企業説明会 協力参加企業リスト(順不同)

企業名	業種	企業名	業種
(医)野崎徳洲会病院	病院事務	(株)フジワーク ソニー・プレイステーション のコントローラー	電子・電気機器
日本生命保険(相)	生命保険	(株)ゼンコーポレーション	アパレル
住友生命保険(相)	生命保険	(株)現代広告社	広告
大阪府警察本部	警察官	(株)グラフィック	印刷
(株)せいき (やすらぎの村)	福祉	協立薬品(株)	薬品
(株)引越社関西 (アリスマーク)	引越	ホーム(株)	サービス
日本八ムグループ 中日本フード(株)	商社(食品)	(株)ポネール	サービス
大阪東信用金庫	金融	(株)グルメ軒屋	サービス(フード)

初の試み 就活支援に16企業が協力参加

本学主催の「学内企業説明会」を開催

人間学部

心理学会と社会学を共に学ぶことは、個人の意識に社会性を確立し、個人の職業生活に主体性を確立すること。

企業活動はその構成員である社員の活動に支えられている。個人は仕事に鍛えられ成長し、成長した個人は仕事を創る。家庭においても夫婦は子供を授かり、子供は育てられ成長し、成長した子供は新たな家庭を作り家族を育む。個人と個人の外側には、個人と個人の境界を設け、個人の内面を深く深く追求して社会の福祉に貢献しようとする学問の方向に「心理学」がある。また、個人を取り巻く環境を広く広く追求して個人の人生を豊かにしようという学問の方向に「社会学」がある。

社会に飛び立つ日までに人生設計を21世紀に入り、日本の経済社会は大転換期の渦中にあります。この環境の変動期に職業人はどう対処すべきかと問うとき、21世紀前半を主体的に生きる人の姿のモデルとして、私は過去の日本では松下幸之助、本田宗一郎、アメリカではGEの創設者であるエジソン、現代の日本では小倉昌男、松井道夫(存命中)の名を挙げたい。彼らに共通するのは日々を生産を掛け、日々の困難を克服し、創業を成し遂げ、後進に感動と勇気を与えたということ。そのような人生観や生き方はどのようにして形成されるのでしょうか。大学を卒業し社会に飛び立つ日までに「我が人生の経営方針」を確立しておきたいものです。

ライフサイクルとパーソナリティ

個人の成長と社会の発展との調和を図るためには社会との関係を再構築する必要があります。その機会が人間性発達の見点からは、それまで育ってきた家庭教育の既成概念から脱皮する思春期と、それまで働いてきた企業文化の既成概念から脱皮する老年期と、二度あるように思われます。人生を変えないものと考えたり、人生は変わるものと考えたり、人間を捉える視点(個人と集団、経済力と健康、「生涯のある期間と全体」、など多面的立体的に俯瞰すること)が人生の理解を促進すると考えます。人生の全貌をどのように伝えるべきかと、幼年期から中期までを通した「個人と社会との関係」や、現実的な生活感情としては「個人

しと待っていた。企業側も、パソコンを駆使して各種資料を示しながら丁寧に説明をしていた。学生たちは受け取った資料から、メモしながら説明の一言も聞き逃さないという熱心に聴いていた。この学内企業説明会には、3年次生の在籍者の90%弱の学生が参加し、すでに突入している就職戦線への関心の高さが、ひしひしと伝わってきた。参加した学生から、「いまだあまり就職活動をしていなかったのに非常に参考になった。これからは気合を入れて就職活動をして進めたい」とい、「大学内ではいろいろな企業の話を知ることが出来て非常に有意義であった。ただ、1時間では回りきれないので次回は時間を長くしてほしい」との声が多く聞かれた。

今回の「学内企業説明会」は、人間学部の一期生の就活支援活動として開催された。参加した学生たちの熱意がひしひしと伝わり、会場は熱気で盛り上がり、大成功であった。この貴重な経験を生かし、多くの学生が自分の夢の実現に努力することを期待したい。

【村本満氏略歴】(06年本学就任予定)
1948年 石川県に生まれる。
1972年 東京大学文学部社会学科卒業
同年 三菱電機入社 人事教育部門に33年勤務
03年兵庫教育大学大学院学校教育研究科修了
05年同社を早期定年退職
現在、複数の企業にて、相談室カウンセラー、キャリア教育の講師を兼務。
資格：産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、臨床心理士

総合経営学部 経営経済学科

今春開設予定 『経営心理コース』で何を学ぶか

臨床心理士・産業カウンセラー 村本 満

発達には時間的変化(時間軸)と方向性(社会軸)があり、その意味していることは、理性と感情が人間の内的自己像や生活の側面を特徴づけているという気付きと考えます。人間は社会性、家族、という文化の中に産み落とされ、周囲の様々な人との接触を通して、理性と感情が発達し、自覚め、発達した内的自己像を基準として、改めて職業的側面(社会性)を選び直します。そのような発達過程をたどると考えます。

また、人生の展望を「経験と教訓」の視点で考察すると、経験と教訓という個人的な自己意識が示しているものは、限られた生命として個人を備え持つ、人間存在という事実ではないかという思いに至ります。

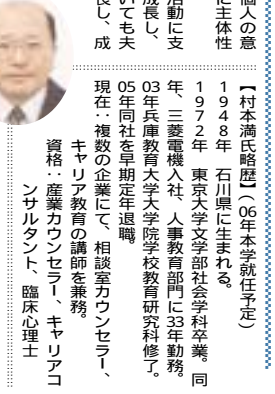
生活の側面と職業的側面を持つ人生に活力を支援するカウンセリングはどのようなものか。経営心理コース

人生には生活の側面と職業的側面とにそれぞれ明確な柱があることを人生観の共通ベースとし、それを基準とすることで、人生を「未知なる冒険」や「既存の職業への適応」に留めるのではなく、起伏ある冒険の渦中にある自己をボジティブにとらえて生きる現実感とできるのではないかと考えます。人間が時代という環境を移動する動物とすれば、活力が湧くように支えるカウンセリングはどのようなものか。「経営心理コース」で学びながら追求していきます。

の才能の発揮と経済的成功の関係、あるいは、課題解決の知性と幸福な感情の関係といった、「人生の全貌」をライフサイクルと考え、ライフサイクルとパーソナリティの発達とを関係付けてカウンセリングに活用したいと考えています。

「経験と教訓」から

内的自己像の確立を

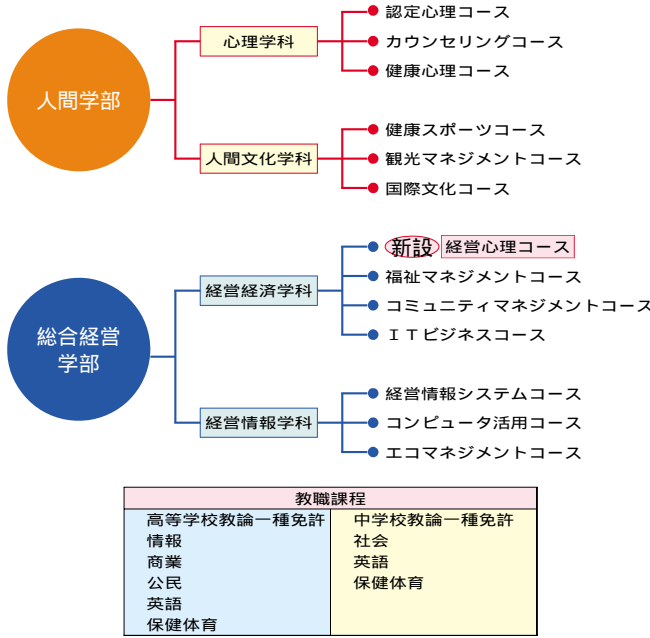


2006年度 入試日程

[学部共通] 詳しくは募集要項をご参照ください

選考種別	出願期間(消印有効)	試験日	
一般	A日程 I方式	1月5日(木)~1月24日(火)	1月28日(土)
	A日程 II方式	1月5日(木)~1月24日(火)	1月29日(日)
	B日程 I方式	1月26日(木)~2月14日(火)	2月18日(土)
	B日程 II方式	1月26日(木)~2月14日(火)	2月19日(日)
大学入試センター試験利用	C日程 I方式	2月15日(水)~2月28日(火)	3月4日(土)
	C日程 II方式	2月15日(水)~2月28日(火)	3月5日(日)
	A日程	1月30日(月)~2月14日(火)※必着	3月16日(木)
	B I日程	2月16日(木)~2月27日(月)※必着	
B II日程	2月28日(火)~3月13日(月)※必着		

『経営心理コース』の募集は、全ての選考種別で受け付けています。



シンポジウムで座長を囲む人々。シンポジウムは、環境保全と人類の未来をテーマに、地球環境問題の解決策を模索する場として開催された。

日中韓共催で中国河北医科大学において開催

第5回国際医学学生物学電子顕微鏡シンポジウム 座長に尾上 孝利教授 人間学部 心理学科)

本シンポジウムは日本医学学生物学電子顕微鏡技術学会、韓国電子顕微鏡学会および河北医科大学の共催で2005年10月7日(金)から9日(日)まで、中国河北医科大学で開催された。これまでのシンポジウムと同様に、W.H.O.西太平洋事務局の多大な理解と支援を受け、「環境と生命(Environment and Life)」Saver、電子顕微鏡研究技術の普及と交流を通じ、国際的貢献に貢献し、近隣諸国と共同で取り組むべき環境保全と人類の未来をテーマに、地球環境問題の解決策を模索する場として開催された。

特別講演は3題、シンポジウムは11セッション、55題、一般演題はポスターセッションで60題発表された。

今回、私は日本側の副座長として、シンポジウムの企画運営に関わり、10月7日には中国北京大学健康科学センター組織・胚培養研究室 Jun Min TANG 教授の「Scanning Electron Microscope Study on the Immature Dentritic Cells before and after Electra-cation of Human Hepatic Cancer Cell RNA」の座長を務めた。10月8日にはシンポジウム(題の発表)1題は共同演者の発表を行うと共に座長も務めた。講演は「Application of Scanning Electron Microscope to Science Education in Junior High School and Elementary School, Gyeongju and Elementary School, Gyeongju」

大阪市内で開催している親子体験学習プログラムの生物観察会における小中学生の電子顕微鏡の現状を紹介し、理科教育に電子顕微鏡は非常に有益な道具であり、子供たちが将来科学者になるために観察できる機会を増やすべきと述べた。

河北医科大学は中国における電子顕微鏡研究の中心で、日本の国立大学における電子顕微鏡施設と同レベルの機器が設置され、活発な研究が行われている。そのため、本シンポジウムでは同大学の大学院生や若い教員がたくさんの演題をエントリーし、講演していた。また、韓国・日本からも大学院生が演題を出し、若さ溢れるシンポジウムとなり、第5回シンポジウムは2009年に日本で開催することが決まった。

河北医科大学へ河北省石家荘、北京から約400kmからの帰途、禅宗で有名な臨済寺(臨済宗の発祥の地)に立ち寄れたことは思いがけないことであった。

最後になりましたが、本シンポジウムに参加する機会を与えていただき、ありがとうございました。太成学院大学、足立書館学長に感謝申し上げます。(2005・12・13記)

「第17回感情と情動の研究会」で講演

人間学部 心理学科 鈴木 公洋講師



11月26日(土) 同志社大学室町キャンパス寒梅館211教室において、「第17回感情と情動の研究会」が開催され、人間学部心理学科の鈴木公洋講師が依頼を受け、講演を行った。題目は「表情知覚に有用な情報はFACSによって記述できるか 無表情から最大表出にいたる時系列的な表情刺激を用いた検討」であった。鈴木講師以外には、同志社大学文学研究科大学院生による「関係性の発展が表情表出に及ぼす影響」と早稲田大学理工学部助手による「ヒューマノイドロボットの心理モデルの構築」という題目での講演が行われた。各講演に約1時間半の時間が与えられ、活発なディスカッションが行われた。

学術の世界が広がる 認知心理学の授業の向こうに

間半の時間が与えられ、活発なディスカッションが行われた。

「感情と情動の研究会」は同志社大学文学部心理学研究室が10年にもわたって開催してきたもので、心理学のみならず、感情と情動に関する多くの関連分野からの講演が行われる学際的な研究会である。聴講者も全国から50名近くの研究者が参加する。

今回鈴木講師が講演した研究内容は、人間学部心理学科2年次配当科目である「認知心理学」においても解説されているものであり、講演内容の多くの部分は、Suzuki, K.&Naitoh, K.2003 Useful information for face perception is described with FACS. Journal of Nonverbal Behavior, 27(1), 43-55.で紹介されている。学生たちが受講している講義内容が今、学際の中で議論されているのである。大学での授業の向こうに学術の世界が広がっていることを学生たちに再認識してもらいたい。



熱心にメモを取りながら聴く学生たち

フィールドワーク

環境問題に取り組み現場を見学 人間学部 足立泰(研究)

この学修目標を達成する一助にするため、去る12月3日(土)、学外フィールドワーク研修が足立泰久教授の指導のもと実施された。研修先は、大阪市南港のアジア太平洋センター、ATCグリーンエコプラザで、本授業を履修している52名の学生が参加した。事前授業のなかで各班が取り組んでいるテーマに関連のある見学コースを左記の四つから選び、班ごとに見学した。各自で「学修シート」の設問に解答しながら、「見学レポート」をまとめ、見学中に撮影した写真等を用いて分かりやすいプレゼンテーション資料を作成して、次回の授業で各自プレゼンテーションした。

①環境学修コース 地球環境問題とは何かについて、全般的に解説するコース
②ごみ問題・リサイクルコース(ごみ問題や、リユース・リサイクル・リサイクル等に関する展示を中心に解説するコース)
③エネルギーコース(省エネルギーや新しいエネルギーに関する展示を中心に解説するコース)
④グリーン購入コース(環境配慮した商品や「エコマーク商品」などに関する展示を中心に解説するコース)

身近な公害問題や地球規模の環境問題の原因・現状を把握するとともに、今日からでもできる身近な解決策から、企業の取り組みやグローバルな施策について調査学習していく。

最後になりましたが、本シンポジウムに参加する機会を与えていただき、ありがとうございました。太成学院大学、足立書館学長に感謝申し上げます。(2005・12・13記)



環境にやさしいエコカーに強い興味を示す学生たち

今回のフィールドワークでは環境問題への取り組みの現場を全員で見学した。百聞は一見に如かずと言われているように、現場を自分の目で見ることに興味と期待がわき、環境問題への意識が一段と高まることを期待したい。

①教育現場ではできない「現実の社会の状況」を学ぶこと
②地球環境問題の解決策を学ぶことで、未来指向の環境教育ができること
③「職業教育」が企業成長の環境への取り組みやベンチャー企業の成長を学ぶことがあげられる。

ATCグリーンエコプラザは、環境関連技術や商品を一堂に集積し新たな情報を発信できる日本で初めての環境ビジネス支援拠点である。また、各種情報を加工して各方面に発信する情報提供サービスにも積極的に取り組んでいる。

学校法人天満学園
創立70周年記念教育事業の一つとして

清滝スポーツヒルズに(硬式野球場に続いて) サッカー兼ラグビーグラウンドを新増設

場所 清滝スポーツヒルズ(既設硬式野球場道路隣接)
広さ 約34,000㎡
他にテニスコート5面・休憩所
ナイター照明・スタンド完備
クラブ・授業等で活用が期待される



狙いは豪華賞品
「ビンゴ」に歓声



「パキスタン義援募金」チャリティー餅つき大会に協力参加する教育後援会

学友会実行委員会	実行委員長	総合経営学部経営情報学科	4年次	地神	翔一
	副委員長	人間学部心理学科	2年次	加納	優也
書記	書記	人間学部心理学科	2年次	渡部	哲也
	副書記	人間学部心理学科	2年次	中出	はるか
大学祭実施委員会	実施委員長	総合経営学部経営情報学科	2年次	久徳	義之
	副実施委員長	総合経営学部経営経済学科	2年次	小西	真悟
学長杯争奪スポーツ大会実施委員会	実施委員長	人間学部人間文化学科	1年次	原田	航平
	副実施委員長	人間学部心理学科	1年次	山田	祐太



クラス対抗フットサル大会に汗を流す



「先手必勝」を語る先輩たち

Q 就職活動を始めたのはいつごろからですか
A 3年次生の10月ごろから始めた人が一番早く、12月までにほとんどの人が活動を始めていた。最初にしたのは、各種ナビへの登録が最も多かった。
Q 訪問した企業数は何社くらいですか
A 最多が約300社、スタートを早くして多くの企業訪問をして、自分の希望に合った企業を早く見つけ出すことがポイント。面接で注意したことを覚えてください。身だしなみ、言葉づかい、笑顔等の基本的なことは当然実行する。さらに、面接官との会話内容を工夫する。採用側は、「コミュニケーション能力を重視する。
Q 失敗したこと、反省点がありますか
A ・スタートが遅く、情報収集等が十分出来なかつた。
Q 面接で自己主張は必要だが、しすぎないよ
A 面接で体調を悪くして、面接に行けなかつた。体調はいつも気を付けておくように。あまり早口でしゃべらない。
Q 交通費や食事代など意外と出費がかさむことも留意しておいた方がよい。
Q 後輩にフットボールアドバイスを、
A ・まず大切なことはスタートを早くすること。
Q 面接の内容や一日の反省をノートに記入しておくことよい。このことは大変役立つ。
Q ストレスが溜まるので、気分転換・リフレッシュすることも必要なこと。
Q 質問内容には未だして、人事担当者の印象に残るようにハキハキと答える。

『内定獲得』のノウハウ発表

4年次生から生の声を就活の参考にと

キャリアサポート
センターニュース

12月9日(金)、総合経営学部3年次生のアゼンブリ・アワード「先輩と語る 内定獲得体験談」が開催された。これはすでに就職活動を開始している3年次生に、就職が内定している4年次生からの経験を語ってもらい、就職活動の参考にと企画されたもの。まず、関戸恒昭教授・キャリアサポートセンター部長の挨拶があり、鶴沢同センター長の司会で6名のパネラーが応えるという形式で進められた。参加した3年次生は「何かを掴んで自分の活動の参考にしよつ」とメモを取りながら熱心に聴いていた。

約1000名の来場者で活気 盛り上がった第19回さつき野祭

パキスタン募金活動支援模擬店が多彩に
学長杯争奪スポーツ大会 同時開催

第19回さつき野祭は、秋晴れの好天に恵まれた11月23日(祝)に10時から19時30分まで開催された。同日、学長杯争奪スポーツ大会が同時開催で、クラス対抗競技で熱戦が展開された。今回の大学祭のテーマは「COLOR」で、学生一人一人の個性をそれぞれに表現し、自由な発想を前面に押し出し、全員で盛り上げて、思い出に残る大学祭にしようという願いが込められている。前回までは、学友会の役員が中心になり実行していたが、今回はクラスごとに「大学祭実施委員」40名、「スポーツ大会実施委員」38名で構成され、各実施委員会が準備から当日の運営までを担当した。

今回の大学祭で、まず特筆すべきは、参加模擬店の多さであった。前回の3倍弱の28店舗が出店し、大学祭の盛り上がりは一役買った。さらに、ビンゴ大会を、13時から17時からの2回行い、賞品を豪華にしたことである。ステージで数字を読み上げるたびに大きな歓声が上がった。また、今年も教育後援会役員の皆様に多大なるご協力をいただいた。前回同様「チャリティー餅つき大会」が開催され、つきたてのアツアツの餅を無料で食べた。同時に募金活動を行い多大な被害を被ったパキスタンへ、模擬店の売上金と合計し、24万2137円を毎日新聞社会事業団を通じて義援金として送ることにした。バスケットボールに計23チーム

子どもたちに人気の「わたあめ」



軽音楽部のライブ

高校「情報」授業充実に向けて 学生補助員制度に期待感高まる

高等学校新学習指導要領では、従来専門学校だけで実施されていた情報教育を、平成15年4月より高等学校で必修の教科として「情報」を新設された。本学ではこの「情報」授業に学生補助員(スチューデント・アシスタント)を派遣し、学生の持つ情報関連知識・技術を生かすことで、高等学校の「情報」授業が一段と充実し、それはかりでなく、学生にとっても、このインターンシップで教育



先生の授業補助に泉 大樹君(右)

現場を経験することで、就職活動の大きな体たになるものも期待して、この制度を定着した。

平成17年9月1日より、大阪府立泉南高等学校に、総合経営学部経営情報学科、3年次生(泉 大樹君)の派遣を開始した。去る12月1日(木)、本学の吉川博史教務部長が派遣先の大阪府立泉南高等学校を表敬訪問した時の、泉君の活躍ぶりを紹介したい。

その時は、ちょうど授業中で、エクセルの試験中であつた。担当の先生と一緒にパソコンを操作する生徒からの質問に答えたり、アドバイスをしていた。
お話を伺った先生方の声をまとめさせていたたく、授業に取り組みが立派だ、生徒への対応が親切丁寧で、生徒に親しまれている、というもので、この学生補助員制度の成果を評価されていることは大変嬉しい。この学生補助員制度は、まだその緒にのついてばかりで、高等学校「情報」教育の充実に必要な役割を果たすことと高大連携への発展にも成果を期待したい。

「宅建」試験に一発合格

総合経営学部 松田大輔君



総合経営学部 情報学科4年次生 松田大輔君
写真Ⅱは、10月16日(日)に実施された宅建建物取引

主任者(宅建)試験に初めての挑戦で見事に合格した。宅建試験は、年1回実施される国家試験で、例年の合格率が15%前後で難関試験の一つと言われている。

宅建物取引主任者

不動産の必須資格と言われている。不動産の表買・仲介の際には、宅建主任者が「重要事項説明書の交付と説明」「契約書への記名・押印」という独占業務を行い、しかも不動産取引を行う業者の事務所ごとに、従業員5人(1人の割合で専任の宅建主任者を置かなければならないと法律で定められている。

稲垣将大選手ベストナインに

近畿学生野球連盟、部秋季リーグ

近畿学生野球連盟(Ⅲ部リーグ)では、平成17年度秋季リーグのベストナインを決定し、11月24日(木)に表彰式を開催した。本学硬式野球部、稲垣将大君(人間学部人間文化学科1年次生)は外野手部門(中堅手)で多く



準備役に貢献した稲垣将大選手

の先輩学生を押し上げて初めて受賞した。稲垣将大君は俊足巧打の一番打者としてチャン

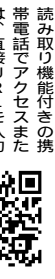
CAMPUS Topics

人間学部・尾上研究室

神戸大学大学院と共同研究
人間学部尾上研究室(尾上孝利教授)では、神戸大学大学院自然科学研究科、朴允主任教授と、平成17年10月15日から平成18年11月1日まで共同研究をスタートさ

本学シャトルバス

ダイヤを携帯サイトで
シャトルバス(無料)のダイヤを携帯電話のWebサイトを確認できるようになる。近鉄南大阪線・長野線喜志駅、南海バス平尾バス停のダイヤを掲載する。QRコード



読み取り機能付きの携帯電話でアクセスまたは、直接URLを入力する場合は、左のアドレスを入力すればアクセスできる。
<http://www.tgu.ac.jp/mobile/index.html>

人間学部・松熊研究室

2月にスキー特別実習開催
人間学部松熊研究室(松熊義昭教授)は、スポーツ特別実習としてスキー実習をさつき野中学校

足立記念館で校内音楽会

本学施設の利用で地域貢献
地元堺市立さつき野中学校の第21回2005年校内音楽会が、11月5日(土)10時より足立記念館3階ホールで開催された。当日は秋晴れの好天に恵まれ、会場には早くから教職員、保護者が入場され、ほぼ満席の大盛況だった。



見事なハーモニーに拍手

松田大輔君の談話

10月の宅建試験合格を目標に約1ヶ月集中的に勉強しました。テキストに一通り目を通し、約10年間の過去問に取り組みました。正解出来なかった問題は、テキストと関係する

法令で理解出来るまで調べました。民法から15問出題されるので、民法を重点的に勉強するのが合格のポイントだと思います。

併設校 Topics

太成学院大学高等学校

本校は、米国カリフォルニア州サンディエゴにあるスクリプス・ランチ高等学校と提携して国際交流を行っている。平成17年7月にスクリプス・ランチ高等学校より6名が来日され、学校交流、体験

友好の楯が届く

授業、校外学習を実施した。一方、本校からは、12月に14名がスクリプス・ランチ高校を訪問して、学校交流、体験授業・校外学習等を体験した。この友好関係にあるスクリプス・ランチ高等学校より



本校の和田校長宛に届いた友好の楯

大成学院大学中学校

足立記念館ホールで芸術鑑賞
平成17年度秋の校外学習は、併設の太成学院大学足立記念館3階ホールで芸術鑑賞とキャンパス見学に決まり、11月15日(火)に実施した。この校外学習には、生徒76名、教職員13名、保護者14名の計103名が参加し、バス2台で会場である太成学院大学



生徒代表の挨拶を受ける足立理事長・学長
ロボットの観察に忙しい生徒たち

コンサートであつた。6名の男性で構成するヴォーカルアンサンブルで、見事なハーモニーの奥深くに感動を覚える7分があつた間に終わってしまった。昼食後、各クラスごとに、野外ステージ、ロボット研究所、電子顕微鏡実験室等を見学した。

芸術鑑賞会は、足立記念館3階ホール

で、10時30分より開始した。今回は、アカペラ、ヴォーカルグループ、ジバングコンサートによる

12月6日(火)より、本館玄関前の2本の木に飾られたファンタジックなイルミネーションが点灯した。イルミネーション、ツリーは2本。1本は高さ13mのタワー型で、もう1本は10mのタワー型で、17時から21時まで点灯されている。年末の慌ただしいなか、通りゆく学生、教職員の心を和ませている。

心と光を和ませます

ホワイト・ブルー・イルミネーション輝く

